

＝くだまつ＝

社協



2011.2/1 NO.136号

社会福祉 下松市社会福祉協議会
法人 〒744-0022 下松市大字末武下617番地の2
下松福祉センター内
TEL 41-2242 FAX 41-2330
<http://www.kudamatsu-syakyo.or.jp/>

＝だより＝

わたしたちも
いのちの
助けになれる



献血キャラクター

けんけつちゃん



目次（主な内容）

- 新年のあいさつ2P
- 共同募金中間報告3P
- 社会福祉振興大会4、5P
- 善意の花束6P
- お知らせ.....7、8P

手術をはじめとする医療には、多くの血液が必要であり、献血は尊い生命を守る大きな支えとなっています。

血液の需要が増加する一方で、少子高齢化により、献血可能人口は減少傾向にあります。このことから今まで以上に、将来の献血を支える若い方々の協力がかかせません。

献血は、身近なボランティアです。ぜひ、この機会にご協力をお願いします。

～「はたちの献血」キャンペーン 1月1日から2月28日～

だれもが安心して暮らせる

福祉のまちづくりをめざして



下松市社会福祉協議会

会長 磯村 寿夫

平成二十三年の新春を迎え、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

「助け合う明るい町は福祉から」

「参加するあなたも素敵な資源です」「ふれあいで笑顔あふれる福祉のまち」この三題は、平成二十一年の法人認可五十周年記念の優秀標語です。私は、平成二十一年、二十二年の振興大会や、新春のあいさつで、ボランティア活動参加を呼びかけました。お互い、一人ひとりの特色、持ち分を発揮して、共同活動の輪を拡げようという提案です。「技のある者は技術を出す」との一例を紹介します。「ヘアサロンひろいし」「おか美容室」のみなさんは、OBの方々ともども、毎年、盆と年末に、養護老人ホームきさんの里の入居者のみなさんへ、理美容の奉仕を、四十数

年継続して行っておられます。福祉活動、環境改善の活動は、黙々と見えざる動きが多いのですが、これらを表に出して、活動の渦を起こそうというのが念願です。

現在の我が国の、社会保障に関する課題のみをとらえてみても、年金、後期高齢者医療・保険、障害者支援、介護保険など、いずれも先行き不透明で、私も国民は、何を信頼すればよいのか迷います。私は、昭和二十年代の単独講和か全面講和か、昭和三十年代の安保改定といった国論を二分するような事態でないのですから、政治も各種報道も、足のひっぱりあいをしないで、安定にむかって動いてほしいと念じています。昨年十一月の大会の時に申しましたが、国がどうであろうと、わが下松市は、

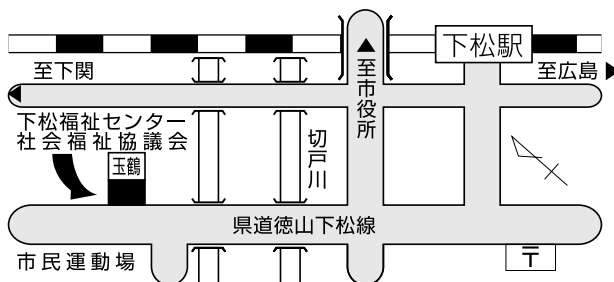
中期的見通しの行政運営の中で安定しています。福祉の面からは、来る五か年を見とおした「地域福祉計画」が、三月には出来あがりです。下松市社会福祉協議会は、この計画を受けて、「活動計画」を作るべく準備を進めています。行政計画と連動した民間の福祉活動のもとに、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」が進むと思っております。

本年十月には、「山口国体」が開催されます。「スポーツを職場に家庭にみんなのものに」「花いっぱい私にできるまちづくり」「青い空赤い花緑のまち」この三題は、昭和三十八年の「国体」のときのスローガンです。私もは、「国体」開催を積極的にとらえ、全国から多くの人が下松にこられるこの機会に、個人の生活、社会生活を、見つめ見直そうではないかということ。昭和三十八年秋にも、各地区公民館を中心に、選手団の民泊がありました。今回も、各地区社会福祉協議会を中心に市内全域十二の民泊協力会が活動を始めています。地域の環境改善、花い

っぱい、スポーツの普及など、地域おこしの活動をより充実したいと念願しております。

私も下松市社協は、「下松福祉センター」を拠点に、社協役職員一同、本年も、多岐にわたる福祉活動のコーディネーターの役割を果たしてまいります。市民皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新春のごあいさつといたします。

案内図



※下松駅からバス5分
バス停玉鶴下車

社会福祉法人下松市社会福祉協議会

〒744-0022 下松市大字末武下617番地の2 下松福祉センター内
TEL 41-2242 FAX 41-2330

ご協力ありがとうございました



赤い羽根共同募金の中間報告(平成23年1月4日現在)

募金総額 12,564,423円

共同募金 **11,345,697円**

歳末たすけあい募金 **1,218,726円**

「地域の福祉 みんなで参加」をスローガンに、昨年10月1日から12月31日まで展開しました共同募金運動は、各自治会、福祉関係団体をはじめ、法人・事業所の皆様、そして学校、子ども会、その他多くの方々のあたたかいご協力により、目標額14,000,000円に対し1月4日現在、実績額12,564,423円で達成率89%となっております。皆様から寄せられました募金は、県内の社会福祉施設をはじめ、本市の地域福祉の推進や福祉団体の活動費として“だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり”のために有効に活用させていただきます。

なお、共同募金会下松支会及び市社会福祉協議会では、歳末たすけあい募金と善意銀行からの浄財を、市内の福祉施設等に歳末見舞金としてお贈りいたしました。



歳末たすけあい募金(共同募金会下松支会)

地域歳末見舞金	86世帯	516,000円
市内福祉施設見舞金	5施設	100,000円

善意銀行(下松市社会福祉協議会)

重度心身障害児(者)見舞金	139名	2,195,000円
市内福祉施設見舞金	6施設	300,000円
交通遺児等見舞金	2名	60,000円



～ 参加する あなたも素敵な資源です ～

平成22年度 下松市社会福祉振興大会

11月19日に、スターピアくだまつ 展示ホールにおいて、「“だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり”をめざして」を大会主題として、平成22年度下松市社会福祉振興大会を盛大に開催しました。

この大会は、社会福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の一層の推進を期するとともに、永年にわたり社会福祉の分野で功績のあった方々を表彰し、敬意と感謝の意を表することにより、社会福祉の一層の発展に資するために開催したもので、約300名の参加がありました。

式典では、功労ごとに表彰が行われ、永年にわたり社会福祉に大きく貢献された功労者に井川市長から下松市長表彰（1名）、磯村市社会福祉協議会長から下松市社会福祉協議会長表彰（29名、2団体）が贈られました。

式典の後に、記念講演として、特定非営利活動法人ぼうぼうネット事務局長 山崎隆弘さんによる「～7.21防府豪雨災害を教訓にして～ 「もし？その時！あなたはどのようにする」と題しての記念講演がありました。

講演の中で、防府豪雨災害を教訓に、災害は、「そねーなものはくりゃーせんに一ね」と、他所事、他人事に思わないこと。

災いを防ぐためには、「安きに居りて危きを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し」日頃から危ないという感覚を持つことが大事なのだと話されました。

実際の体験をもとに、大変貴重なお話をしていただきました。



～ ふれあいで 笑顔あふれる 福祉のまち～

受賞おめでとうございます

(順不同敬称略)

下松市長表彰

【社会福祉関係功労】

1名

中村 和昭 (西豊井)

下松市社会福祉協議会会長表彰

【市社協・地区社協関係功労】 4名

三浦 正巳 (末武上)

角井 武彦 (生野屋二)

近藤 哲也 (河内)

橋本 俊男 (東和二)

【民間施設、福祉関係団体功労】

2名

栗岡 宗弘 (旗岡五)

河原 悦子 (栄町二)

【民生委員児童委員功労】 8名

村田 猛彦 (末武上)

石田 博之 (末武下)

藤井 仙亮 (末武下)

怒和 千代子 (美里町三)

藤本 弘子 (藤光町二)

藤田 和江 (潮音町四)

豊島 浩二 (桜町三)

相本 史雄 (望町三)

【福祉員功労】 7名1団体

井川 忠明 (来巻)

佐古 恵子 (瀬戸)

下村 玲子 (瑞穂町二)

福田 順子 (東豊井)

金近 勝 (瑞穂町三)

浅野 恵子 (笠戸島)

金子 恭枝 (末武下)

久保地区福祉員連絡協議会

【自治会長功労】 1名

内山 富士雄 (旗岡二)

【ボランティア功労】 7名、1団体

朗読つるの会

崎永 エミ子 (楠木町二)

〈はごろもグループ〉

藤井 敏江 (下谷)

〈米川ボランティアグループ〉

宇佐美 芳江 (生野屋二)

〈サルビアボランティアグループ〉

清木 貴美子 (東豊井)

〈なでしこの会〉

野村 洋子 (潮音町二)

〈えくぼの会〉

上田 美美子 (光市)

〈周南さわやか会手編みグループ〉

藤井 幸江 (東陽二)

〈すみれの会〉





善意の花束

社会福祉事業のために、市民のみなさんから、善意銀行に忌明その他の厚志を含めてたくさん
の善意がよせられました。ここに厚くお礼申し
上げます。

平成22年10月1日～平成22年12月20日

(順不同)

香典返し		東柳	
切山	米永 明子様 御主人好伸様 五万円	生野屋	相本ヤエ子様 御主人和美様 十万円
東豊井	橋本美知子様 御主人 孝様 十万円	末武上	藤田 典敬様 御母堂フサ工様 十五万円
山田	小川 順也様 御祖母藤井ミツ子様 十万円	生野屋	親族御一同様 新谷 和茂様 十万円
桃山町	廣中 博美様 御尊父 博様 三万円	末武下	宇田 哲夫様 御母堂笑香様 三万円
末武上	原田 紀昭様 御尊父義市様 二十万円	潮音町	中村 恵様 御主人敏行様 ご希望により 金額は掲載して おりません
笠戸島	守田 睦江様 御主人傳人様 二十万円	一般寄附	
生野屋	内富 忠昭様 御内室貞子様 五万円	国際貿易株式会社様	藤光町
		累計	仲子 英雄様 三十万円
			三万円 十五万円

一般寄附

下松市老人クラブ連合会様
累計 四十九百十円
二万八千百十円

くだまつスポーツセンター様
チャリティーボウリング益金の一部
累計 二万円

下松地区労働者福祉協議会様
累計 六万七千円

とよいまつり実行委員会様
中央公民館ふれあいまつり実行委員
会様
累計 二万五千円

旗岡 高野 勉様
昭和町一丁目気功同好会様
累計 八万円

下高十二期卒業生有志御一同様
笠戸島 下村 治様
累計 一万円

ひまわりの会 代表藤嶋正子様
下松商工会議所女性会様
累計 十五万円

光市 藤村 朴様
匿名様
累計 二百十五万円
五万円

訪問介護員募集!!

あなたの技術を在宅福祉に生かしてください

在宅福祉サービス事業を支える訪問介護員
(ホームヘルパー)を募集しています。

採用職種 訪問介護員(パートタイマー)

採用条件 次の条件を満たしている方

- ①訪問介護員2級以上の資格を有する方
- ②普通自動車免許
- ③下松市内に在住の方

詳しくは 下松市社会福祉協議会まで TEL41-2242

指定寄附

山口県立下松高等学校生徒会様
二万円

物品寄附

お菓子 2 件
雑巾 1 件
お餅 3 箱
リングプル 17 件
使用済み切手 13 件

**献血は、もっとも身近な
ボランティア。**

**あなたのわずかな時間で、
救える命があります。
献血へのご協力を、お願いします。**

「はたちの献血」キャンペーン(平成23年1月～2月)期間中、献血者が減少しがちな冬期における献血者の確保や献血の一層の推進を図ることを目的に、地域イベントを実施します。

と き 平成23年 1月29日(土)
10:00～12:00/13:15～16:00

ところ ザ・モール周南

※当日は、イベントとして、献血をされた方に
フラワーポットをプレゼントします。

福祉施設見学会

- ◆日 時 3月3日(木) 9時～15時30分
- ◆内 容 福祉講座
・福祉サービスについて
施設見学
・松寿苑(特別養護老人ホーム)
・ふくしの里(介護老人保健施設)
・ほしのさと(特別養護老人ホーム)
- ◆対 象 福祉に関心のある市民
- ◆定 員 20人(申込み多数の場合は抽選)
- ◆参 加 料 500円(昼食代を含む)
- ◆締 切 日 2月16日(水)
- ◆申込方法 はがき又は電話
(住所、氏名、年齢、電話番号)
- ◆申し込み・問い合わせ先
〒744-0022
下松市大字末武下617-2
下松市社会福祉協議会
TEL 41-2242

山口県総合社会福祉大会

昨年10月27日、美祢市民会館において、県下の社会福祉関係者が一堂に会し、生活保護法制定60周年記念 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律制定60周年記念 知的障害者福祉法制定50周年記念 第60回山口県総合社会福祉大会が開催されました。

この大会の席上、社会福祉事業充実・発展に功績のあった方々に対し表彰があり、本市から次の方々が受賞されました。

(敬称略)

★社会福祉事業功労者表彰

山口県知事表彰

【社会福祉事業功労者】

民生委員・児童委員

相 本 昌 子

民間社会福祉事業施設等の長及び従事者

峠 野 眞 弓

山口県社会福祉協議会長表彰

【社会福祉事業功労者】

内 山 俊 雄 田 中 宏 明

山口県身体障害者団体連合会長表彰

一般功労者表彰

中 原 貞 雄 松 村 一

模範障害者表彰

松 村 圭三郎 吉 山 泰

山口県老人福祉施設協議会長表彰

会長表彰

石 田 知 子

山口県肢体不自由児協会理事長表彰

優良職員並びに指導者

西 田 俊 朗

全国民生委員児童委員連合会長表彰

(平成22年10月28日の全国大会で表彰)

永年勤続民生委員・児童委員表彰

木 本 芳 樹 藤 江 旬 仁

野 田 黎 子

★「健康福祉月間」作文応募作品入賞者

佳作

下松市立末武中学校3年 衣 笠 佑 奈

《3回連続講座》
くだまつ福祉セミナー

参加者募集

知っておきたい 福祉のこと講座

～ 今私たちに必要なことは？ ～

ともに生きともに暮らす“くだまつ”。講座に参加して一緒に
くだまつの福祉について考えてみましょう。

回	日 時	内 容 ・ 講 師
1	2/19 土 14:00～16:00	だれもが安心して暮らせる福祉のまちとは ～地域福祉のイロハ～ 講師：小林 武生（徳山大学福祉情報学部 准教授）
2	2/26 土 14:00～16:00	身近な災害について考える ～防府豪雨災害から見えるもの～ 講師：山崎 隆弘（NPO法人ぼうぼうネット 事務局長）
3	3 / 5 土 14:00～16:00	子どものサインを見逃さない ～児童相談の現状と対応～ 講師：堀江 秀紀（臨床心理士 前岩国児童相談所長）

会 場 下松福祉センター 3階会議室 下松市大字末武下617-2

対 象 福祉に関心のある方（原則、毎回参加できる方）

定 員 30名（先着順）

参 加 費 無 料

応募方法 電話又はFAXでお申し込みください。
①氏名 ②住所 ③電話番号

締め切り 2月16日（水）

申し込み・問い合わせ先

下松市社会福祉協議会
〒744-0022 下松市大字末武下617-2
電話：(0833) 41-2242 FAX：(0833) 41-2330

